『ＱＣサークル』誌　2026 年 1 月号　見どころ，読みどころ

★トップからのメッセージ

p.2～

旭化成㈱　取締役会長　小堀　秀毅　さん

もともと旭化成グループでは社員一人ひとりが主体性を大事にしながら，自ら課題と目標を立て，組織の仲間たちと継続的な改善を進めることを重視してきた歴史があります。小集団活動もまさにそうした取組みで，結果として私はずっと終身成長といい続けていますが，仲間と PDCA のサイクルを回していくことで個人の終身成長につながっていく。むろん組織の成長にもつながり，現場力，組織力の向上にも直結する。だからとても重要な活動だと考えています。

★ザ・ショット 写真で綴る QC サークル紀行

p.5～

シチズン時計マニュファクチャリング㈱　東北工場

国産時計ブランドのシチズンの部品製造から完成組立までの全工程を一貫して担うのが，シチズン時計マニュファクチャリング（本社：埼玉県所沢市）です。シチズンといえば，高精度で魅力的なブランドとして日本国内のみならず世界でも知られています。国内 17 工場のうち，東北工場に目を向けてみました。工場内で展開する QC サークル活動（MQC サークル活動と呼んでいる）は，全員参加の体制が根づいています。

積極的な取組みを続ける同工場での様子や活発なサークル活動について，お話を伺っています。

★特集：職場に潜むリスクを見つけるには

p.9～

リスクは，品質，コスト，量・納期，安全，環境など，仕事や生活のあらゆる面で関係します。リスクへの取組みはその不確かさゆえに難しく，不確かさは私たちの持っている情報・知識の不十分さに起因しています。したがって，少しでも情報・知識を増やす努力が必要ですが，どうしても不確かさがゼロになるわけではなく，だからといってリスクに対して何の備えもしていなければ，状況によっては致命的な事態に陥ります。

今月の特集では，リスクを見つけるのがなぜ難しいのか，ヒヤリハットやインシデント，さらにはちょっとした気がかりを職場として顕在化させ，それらをうまく活用しながら業務に潜むリスクをあぶり出すコツはどこにあるのかについて学びます。

★活動支援のページ：リーダー・サークルに寄り添う支援の工夫 ～QC サークル活動をより楽しく進めるために～

p.23～

第 1 回　QC サークル活動の必要性はよくわかっている。でも，なかなか動けない。さあ，どうする？

昨年までの「推進者のページ」と「運営のページ」を統合し，推進者およびサークルを対象として皆さんの QC サークル活動に寄り添う記事をお届けします。前半 6 号は QC サークル活動の困りごとについて，企業事例を加えながら解決策を探ります。また，後半 6 号は課題達成型 QC ストーリーに沿って仮想サークルの成長物語をステップごとの支援ポイントを紹介していきます。

第 1 回は「QC サークル活動の必要性はよくわかっている。でも，なかなか動けない。さあ，どうする？」と題して読者のみなさんと一緒に考えていきたいと思います。

★サークル Q&A　ただいま出勤　QC サークル 119 番～あなたの困りごとに寄り添います～

p.32～

カルテ 198

今月号では，問題解決型 QC ストーリーの重要ステップともいえる「現状把握」について見ていきます。現状把握の目的と，要因解析との関係から，「状把握はどこまでやればいいのか？」を考えていきます。三現主義に沿って現状把握をしっかり進める，改善活動の大きなポイントとなります。現状把握をしっかりすると，改善活動の半分は進むといってもいいかもしれませんね。

★体験事例＆ワンポイント事例

今月は，体験事例 2 件，ワンポイント事例 1 件を紹介します。

体験事例：p.32～

1．㈱岡山村田製作所　「Change サークル」

「～自ら考え，自ら変える！変化に強い製造部へ～　情報共有不足の解消」

2．㈱デンソー　西尾製作所　「くろいろサークル」

「無くすぞ！みんなの嫌がる作業「インレットコネクタ拭き取り廃止」」

ワンポイント事例 1：p.40～

近江鉱業㈱　本社営業部　「〆の一品サークル」

「タンカル問合せに対する作業時間を減らそう」

★ルポ：カイゼンを楽しむ－カイゼンフェス 2025 の開催－

P.44～

改善活動には，成果が求められます。しかし，目標必達にとらわれすぎて，「カイゼン」を楽しむ姿勢がなくなってしまっているサークルも見受けられます。改善は各自の成長のためにも，楽しみながら活動してほしいものです。本来の「カイゼンを楽しむ」ことを体感できる「カイゼンフェスを」出雲村田製作所，岡山村田製作所共催で開催しています。今月は，主催企業に加えて社外企業，岡山県教育委員会，そして地元高校生を招いて行われるこのフェスを紹介しています。

★ルポ：2025 年 9 月 6 日（土）㈱IHI エアロスペースの“富岡ロケット祭り”に行ってきました！

P.46～

ロケット飛翔体の総合メーカーであり，QC サークル関東支部・群馬地区の幹事会社でもある IHI エアロスペースが主催する「富岡ロケット祭り」のルポを掲載しています。今回で 25 回目を迎えた人気イベントで，猛暑の中でもおよそ 2,700 人の方々が来場し，多くの家族連れで賑わっていました。ロケット模型や実物の展示，「ロケットの作り方は？」「宇宙空間ってどんなところ？」などのテーマを掲げた科学ショー，模擬店や体験イベントなど，どなたでも楽しめる 1 日を紹介します。

★私たちの活動を紹介します！<JHS(含む医療・福祉)部門編>

P.48～

川口市立医療センター　糖尿病教育チーム

サークルに改善の背景や内容を，推進者にはサークルの育成方法について紹介いただくページです。1 月号は，器材の管理・払い出し手順を標準化し，在庫削減やロット管理の仕組みを確立した取組みを紹介しています。部署横断の課題を共有し，苦労を重ねつつも大きな成果を上げ，「現場の声を起点に全体最適をはかる」活動は，部門横断ならでは。他業種の方も参考としていただけます。

★ＱＣ検定道場

P.50～

第 1 回　新しい受検方式と QC 的ものの見方・考え方（1）

「QC 検定道場」では，品質管理検定（QC 検定）3 級の合格をめざし，レベル表にしたがって過去問題と解答，解説を紹介します。2025 年 9 月からコンピュータ受検が導入されるという大きな動きがありましたが，試験内容には変更はないとされています。1 月号は，2021 年 9 月に実施された第 26 回と 2024 年 9 月に実施された第 32 回品質管理検定（QC 検定）の 3 級問題を取り上げ，解説しています。品質管理の基礎である「QC 的ものの見方・考え方」について学んでいきましょう。

★連載講座：統計的手法をマスターして仕事に活かそう

p.54～

第 1 回　統計的方法の基礎

この連載では，1 月号から 6 月号まで 6 回にわたり，「統計的手法をマスターして仕事に活かそう」として，問題解決型 QC ストーリーの基本を掲載していきます。12 月号までの連載講座と同様に，演習問題と合わせて読者のみなさんに理解しやすく入りやすい内容で進めていきます。1 月号は，「統計的手法の基礎①」として，イラストや図を多用した実践的・具体的内容となります。今後もご期待ください。

☆『ＱＣサークル』誌に貴社の広告を掲載しませんか？

会社や自社製品の PR の場として，ぜひご検討ください！

詳細はホームページをご覧ください。

+++++ 本件に関するお問合せ ++++++++++++++++++++++++++++++++++++

一般財団法人 日本科学技術連盟　『ＱＣサークル』誌編集

TEL：03-5378-9817　　E-mail：：